

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57（1982）年2月
代 表	副会長（会長代行）：玉井拙夫 （神奈川県予防医学協会）
会 員 数	会員機関10＋相談機関2（2023年8月現在）
設立の主旨	
県内における老人保健法（昭和57年度～平成19年度）および健康増進法（平成20年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連携協調を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 第90回協議会 書面開催	
2. 幹事会の開催 第108回幹事会 書面開催	
3. 研修会 2022年8月20日 オンライン開催 神奈川消化管撮影技術研究会との合同開催 症例提示、医師による症例解説 等	
4. 技術部会 第1回 2022年5月18日 第2回 2022年8月18日 第3回 2022年11月15日 第4回 2023年2月28日	
事務局担当	新保文樹（業務部）

（公社）日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56（1981）年7月
代 表	支部長：川口久喜
会 員 数	26機関（2023年3月現在）
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会1回 ②理事会2回 ③技術専門委員会3回	
◆通常総会（2022年7月1日） 第1号議案 令和4・5年度役員改正について 第1号報告 令和3年度事業報告 第2号報告 令和3年度収支決算報告 第3号報告 令和4年度事業計画 第4号報告 令和4年度収支予算	
◆作業環境測定評価推進大会（2022年10月25日） ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川労働局健康課長 小沼みち子氏） ②呼吸用保護具の定量的フィットテストについて （日本カノマックス 有松 仁氏）	
◆第1回技術研修会（2023年3月2日） ①最近の労働衛生行政について （神奈川労働局労働衛生専門官 毛利崇行氏） ②作業環境測定のデザイン事例 （神奈川県労働衛生福祉協会・神奈川県予防医学協会・オオスミ・山梨厚生会）	
今年度もコロナ禍のため従前のような活動はできなかった。	
事務局担当	芦田敏文（環境科学部）

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56（1981）年
代 表	代表幹事：神奈川県予防医学協会
会 員 数	13機関（2023年3月31日現在）
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆第1回協議会（2022年8月24日） 1. 神奈川労働局からの連絡事項 2. 講演 テーマ：『労働安全衛生規則等の一部を改正する省令概要』 講 師：中央労働災害防止協会 東北安全衛生サービスセンター 小島将則様	
3. 情報交換会－新型コロナウイルス感染症による事業への影響 ・令和3年度～4年度にかけての実施状況、実施見込 ・新型コロナウイルスワクチン接種への対応状況 ・職員の感染による事業への影響	
◆第2回協議会（2023年3月28日） 1. 神奈川労働局からの連絡事項 2. 講演 テーマ：『事業場の高年労働者対策として求められる、これからの産業保健活動の進め方』～神奈川産保がすすめる健康づくり無料支援事業～ 講 師：独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター 副所長 赤前幸隆様	
3. 情報交換会－新型コロナウイルス感染症対策の現状 ・予約枠の制限 ・健診会場での受診者間の距離や検診車内での乗車人数の制限 ・マスク着用について（職員・受診者） ・検診検査機器等の清拭について ・人間ドックの食事の提供や呼吸機能検査の実施について	
事務局担当	雨宮 徹（業務部）

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50（1975）年
代 表	会長：新村文男先生 （東海大学八王子病院小児科 臨床教授）
会 員 数	約90人（2022年4月現在）
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 ◆医師部会 ◆定例研究会 ◆機関誌	
現在活動休止中。 学校検尿の新検査法について、本会会長の新村先生と連携し各自治体や大学病院等関係医師への説明方法について検討を実施。	
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務1課）

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46（1971）年
代 表	世話人：上坊敏子先生 （相模野病院婦人科腫瘍センター顧問）
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。
本年度の主な活動	◆年1回検討・報告会 2022年11月29日 7階役員室（WEB開催） ◆検討・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立っている。
事務局担当	佐藤光宣（業務部業務1課）

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18（2006）年10月19日
代 表	代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長）
会 員 数	協力団体33団体（2023年7月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立
本年度の主な活動	◆県内での活動 本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響がありつつも徐々にイベントが開催され、年間を通じて対面によるブース活動を展開した。 ピンクリボンライトアップは前年より11施設多い県内39ヶ所にて9/30～10/2に実施した。初日には3年ぶりに神奈川県庁にて点灯セレモニーを開催、各エリアをZoomで結んで点灯カウントダウンを実施し、ユーチューブにて配信した。事前告知となるポスター・リーフレットのデザインを専門学校プロジェクトチームに依頼し、若い感覚を取り入れた広報物となった。 主催イベントとして「ピンクリボンかながわ in 鎌倉女子大学」を11月に開催。マンモグラフィ検診車の展示、協力団体のブース出展や大学生などの若者世代を交えて「皆で考えるプレストアウエアネス」をテーマにパネルディスカッションを行った。 ◆協働事業 企業・団体との協働事業を継続するとともに専門学校生、大学とのコラボ企画に参加し、SNSからの発信に取り組んだ。 岩崎学園、湘南モノレールと三者による「ピンクリボン活動の推進に関する協定」を締結、2023年1月の湘南モノレール「ピンクリボン号」のヘッドマーク新設を皮切りに、更なる連携強化をスタートさせた。
事務局担当	齋藤好子（健康創造室）

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60（1985）年
代 表	会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長）
会 員 数	○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 16機関 読影協力機関 10機関 横浜市立大学附属病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・海老名総合病院・相模台病院・湘南記念病院・東名厚木病院・横浜市南部病院・神奈川県立足柄上病院・国立病院機構相模原病院・大和市立病院・相模野病院・プレスティアたまプラーザ・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2022年7月現在）
設立の主旨	乳がん死亡率低下のため県が実施する検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会と連携し、検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。
本年度の主な活動	1. 連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3/10（リモート開催） 2. 症例検討会 第1回：7/22 7機関11人（リモート開催） 第2回：11/18 8機関11人（リモート開催） 3. 学会発表 第32回日本乳癌検診学会（11/11-12 浜松市） 東名厚木病院 鎌田順道先生
事務局担当	山本寛典（業務部業務1課）

神奈川県乳房画像研究会／神奈川県乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月
代 表	世話人代表 加藤善廣（川崎市立多摩病院）
会 員 数	24人（2023年7月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・治療のため、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動
本年度の主な活動	◆世話人会 11回開催（Web会議） 2022年4月4日、5月23日、7月4日、7月25日、8月25日、10月6日、11月21日、12月19日、 2023年1月16日、2月20日、3月23日 ◆研究会 3回開催（Web開催） ・第65回・42回研究会 2022年7月12日（火） 「乳腺画像所見の基礎〈腫瘍〉」 神奈川県乳房画像研究会 世話人 ・第66回・43回研究会 2022年10月24日（月） 「乳腺画像所見の基礎〈石灰化〉」 神奈川県乳房画像研究会 世話人 ・第67回・44回研究会 2023年3月9日（木） 「症例検討会2022年度総集編」 湘南記念病院 土井卓子先生 ◆他活動内容 ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会 ◆新型コロナウイルスの影響により中止した活動内容 ・横浜市医師会主催 ポジショニング研修会 ・超音波画像研究会主催 ハンズオンセミナー
事務局担当	見本喜久子・関春花（放射線技術部）

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11（1999）年11月5日
代 表	会長：加濃正人
会 員 数	個人会員136人、法人会員9 法人 (2023年5月現在)
設立の主旨	
県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆総会・講演会 5月（オンライン開催） ◆常任理事会 1回（オンライン開催） 理事会2回（オンライン開催） ◆会員による講演会、セミナー 40回 対象者6169人（オンライン開催のため未把握数あり） ◆かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナー等への協力 講師派遣 7回 ◆イベントへの参加 禁煙相談 2回 ◆関連会議への協力 神奈川県、横浜市の会議へ参加、資料提供 ◆第17回日本禁煙学会（2023年11月開催予定） 実行委員会発足 ◆故中山元会長の足跡記念誌編集委員会発足 	
事務局担当	栗原 博（専門委員）

スモークフリー推進かながわ基金	
設立年月日	平成22（2010）年
代 表	委員長：笹生正人（県医師会理事）
会 員 数	委員6人（委員長含む、2023年現在）
設立の主旨	
受動喫煙防止を浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するため、県民、法人等からの寄付金を原資として設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆「イベント・シンポジウム開催」事業 (1)受動喫煙防止県民向けイベントへの協力 * イベントは中止 (2)受動喫煙防止キャンペーンへの協力 * 限定開催のため啓発グッズ配布は行われず ◆「広報普及啓発」事業 (1)ホームページを活用した普及啓発 (2)啓発グッズ作成 * 啓発グッズ作成は行われず ◆「未成年者等喫煙防止教育」事業 (1)受動喫煙防止県向けイベントへの協力 (再掲) ◆「スモークフリー・サポーターズ・クラブ」事業 (1)スモークフリー・サポーターズ・クラブの運営・管理 * 参加費の徴収、缶バッチの交付はなし 	
事務局担当	栗原 博（専門委員）

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43（1968）年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	11人（2023年3月現在）
設立の主旨	
県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆月例会6回（招待講師によるハイブリッド型オンライン講演。当協会を会場に若干名の会員が参加。他はオンライン視聴） 6月4日、9月24日、10月22日、12月10日、2023年1月21日、2月18日 延べ41人参加 ◆第52回夏期講習会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止。 	
事務局担当	船崎隆文（健康創造室企画課）